

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫便り

平成25年12月6日 (No.10)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

教育研究所から

■No. 10は、教育研究所からの発信です。今年の4月、研究所は教育委員会から小中一貫教育・コミュニティ・スクールについての在り方について諮問されました。そこで、2年間かけて調査・研究を行い、小中一貫教育・コミュニティ・スクールが子ども達にとって確

かな「学び」と健やかな「育ち」につながる答申となるよう努めてまいります。特に今年度は、本町の学びの特徴の一つである「浦幌スタイル」を基盤とした「地域学習」（仮称）の教育課程を編成しています。編成方針は、「地域学習」で身に付けさせたい力を示し、学びの連続性を図り、浦幌町の歴史・文化・産業などについて系統的な学習が展開できるように協力員の力を借りながら作業を進めています。

また、これまで各小中学校で取り組んできた「小中連携」をさらに充実・深化・発展させた「浦幌に合った」「浦幌ならではの」小中一貫教育・コミュニティ・スクール像を示した内容を提言することを目標に調査・研究を行っていきます。
(文責：森所長)

豊浦町幼小中一貫教育研究大会

平成25年11月14～15日

報告者：高田 三十三所員（浦幌小）

この度、先進的に小中一貫教育を実践している豊浦町において、「幼小中一貫教育研究大会」があり、浦幌町からは8名の教育関係者が参加してきました。

幼稚園から小学校、中学校の12年間を見通した教育活動が公開され「学びの連続性」を大切にした取り組みを参観することができました。なかでも小学生と中学生が共に学習する小中ジョイント教室では、音楽科や外国語活動・英語の授業を中心に、校種間の違いを超えて助け合い、学び合いながら生き生きと学習する様子が見られました。

豊浦町では、系統的な指導を一貫して行うため国語科と算数・数学科の2教科について12年間を見通した教育課程を作成しています。

また、家庭や町全体で学習習慣や生活習慣の定着を図るため、発達段階に応じた学習ガイド「きずな」、生活ガイド「スクラム」を作成し、子どもたちの健全な成長を目指しています。これらの取り組みの成果として、全国学力・学習状況調査でも確実な進歩が認められたという成果があげられました。

浦幌町でも今回学ばせていただいたことを生かし、小中一貫教育（コミュニティ・スクール）に関する研究を進めてまいります。

